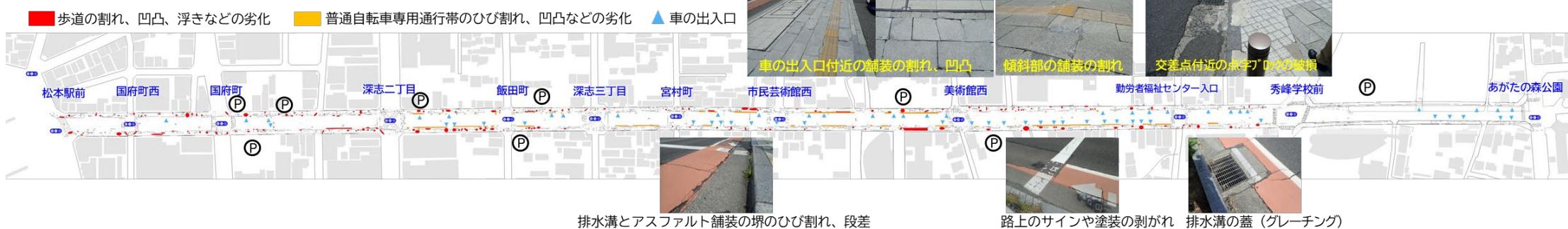


【テーマ2】 安全で快適な通りのデザイン

【あがたの森通りの歩道の傾斜箇所】



【あがたの森通りの歩道・自転車通行帯の劣化状況及び通行障害要素】



シーン①	自転車専用通行帯の現状	1
シーン②	傾斜、段差がある歩道の改善	2
シーン③	夏の歩道の快適性確保	3
シーン④	雨天時、豪雨時の快適性・安全性の確保	4
⑧参考	：他都市の事例	5

シーン① 自転車専用通行帯の現状



- これまでに出された意見・アイデア
 - ・自転車の通行帯の整備が必要。
 - ・歩道とのすみわけが明確でない
 - ・フラットで誰もが安全に通行できる、誘導し危険運転を減らす など

▶参考

前回ワークショップで
挙げられた参考になる
他都市の事例写真



シーン② 傾斜、段差がある歩道の改善

- これまでに出された意見・アイデア
 - ・歩道の傾斜がない（車いすにも優しい）
 - ・歩道の荒れ、ひび割れ、凹凸、段差（が課題）
 - ・冬に凍結して滑る など



►参考 前回ワークショップで挙げられた参考になる他都市の事例写真



社会実験の様子

シーン③ 夏の歩道の快適性確保（現状は日陰がなく舗装面からの照り返しも強い）



■これまでに出された意見・アイデア
・アスファルトでない涼しさを感じられる歩道と車道



▶参考

遮熱性舗装：日射エネルギー量の約半分を占める近赤外線を再帰性能（太陽方向に戻る）を高めた形で高反射して、舗装路面の温度上昇を抑制する舗装。一般の舗装よりも表面温度の上昇を抑制できるため、歩行者空間や沿道の熱環境の改善、ヒートアイランド現象の緩和が期待されています。

右写真は、目黒区での導入事例「めぐろスマートライフHP」
<https://www.megurosmartlife.jp/syanetusei/>



シーン④ 雨天時、豪雨時の快適性・安全性の確保 (深志二丁目交差点付近は松本市ハザードマップにも注意記載あり)



▶参考

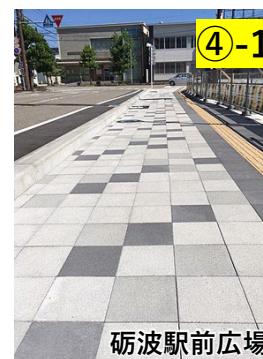
透水性舗装：透水性を持つ材料を表層や基層、路盤に用いることによって雨水などを地中へ浸透させる舗装。雨天時の歩行性の向上、雨水流出抑制効果、路面温度の上昇抑制等の機能を有する舗装で、都市部の生活環境を改善し、ヒートアイランド現象の抑制が期待されます。

保水性舗装：舗装体内に保水された水分が蒸発し、水の気化熱により路面温度の上昇を抑制する性能をもつ舗装。一般の舗装よりも舗装体内の蓄熱量を低減するため、歩行者空間や沿道の熱環境の改善、ヒートアイランド現象の緩和が期待されています。

参考HP <https://www.coolhosouken.com/> <https://www.toyo-kogyo.co.jp/landscape/>

■これまでに出された意見・アイデア

- ・透水性のある舗装にしたい
- ・アスファルトでない涼しさを感じられる歩道と車道



【施工事例】

⑤参考：他都市の事例



事例の追加予定

